

事業名 インターンシップ型農業・農村総合活性化戦略プロジェクト

採択大学等名 **東京農業大学**
浪江町復興支援事業

連携市町村名
浪江町、双葉町

取組概要(目的)

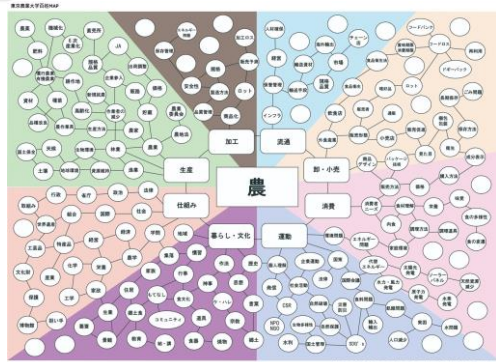
2021年度から本事業では福島県浪江町を拠点として、本学の建学の理念である“人物を畑に還す”に則って、中幹産業である農業分野のみならず、商工業分野の担い手育成に向けた教育研究プログラムを、「**インターンシップ型農業・農村総合活性化戦略プロジェクト**」として、連携協定を締結している浪江町・(株)舞台ファームの協力を得ながら、本学の3キャンパス（世田谷・厚木・オホーツク）の大学生・大学院生を中心に展開する。

これによって浪江町の復興支援活動に参画し、将来的な交流人口・関係人口として期待できる「**復興支援サポーター**」を年間20名輩出し、浪江町への**新規就農や地域企業等への就職**による人材定着につなげる。

さらには、農業生産の拡大・振興および地域資源を活用した商品提案等によって、農業以外の関連産業との連携をも強化し、震災復興と地域経済全体の活性化を目指している。

2023年度からは浪江町に隣接する**双葉町**の農業支援に向けた基礎調査に着手し、将来的には沿岸地域の自治体との連携により、農業分野の担い手育成を中心とする課題解決に寄与していくことを目的としている。

農大百姓マップ



これまでの成果

第1に、**インターンシップ型教育プログラムの構築**である。これまでに取り組んできた各種の取り組みを、基礎コースとしての「復興浪江学」、「一般農業実習プログラム」コース、応用コースとしての「特別実習プロジェクト」コース、「特別インターン」コース、「新規就農実践講座」を配置し、「学生プロジェクト」は基礎・応用コースに取り組む学生の中から有志で組織して学園祭や各種イベントに参加する形式を整えることによって、プログラムを段階的に学ぶ体系を構築できた。

第2に、**各種の教育プログラムの展開**である。「復興浪江学」は、活動の広報・宣伝に向けた基礎的な講座を実施したり、地域の主力産品である米の需要創造に向けたライスパック工場見学を実施するなどして学生のアイデアを盛り込んだ展開となっている。

基礎・応用 誰でも参加可	学生プロジェクト (参加年数は問わない)	※学際参加 ※遠征イベント参加
応用コース (基本2年目以降の人)	新規就農実践講座	※実務計画の策定実習
	特別インターンコース	※夏季インターン(農作業や新規導入作物の立案など) ※新規就農実践講座コース ※インターンの高度化を目的とする加工方法を立案
	特別実習プロジェクトコース	※情報系実習(販売戦略) ※登山部実習(接客戦略) ※特産品実習(加工)
基礎コース (1年目の人)	一般農業実習プログラム(浪江復興米)コース	※卒業後の進学 ※就職、帰郷 ※報告会
	復興浪江学	※広報、商品開発など



一般農業実習プログラムコース「浪江復興米」の田植え作業の様子(2023年5月14日：南棚塩地区) 圃場は福島舞台ファーム(株)の協力により、圃場を使用している



2023年度より双葉町の農業支援に向けた基礎調査を実施(2023年8月29日：双葉町産業交流センター)

これまでの活動や昨年度のアンケート結果を受け、基礎コースは伝承館など日本大震災の状況を知り、かつ初歩的な農業を経験できるようにコースを設定し、その他の応用コースとして段階的に学ぶ形に修正し、継続した学びにつなげるプログラムとした



農業の手伝いからレシピ開発だけでなく、ロゴデザインやパッケージデザインなどトータルで商品開発の流れを学ぶ



浪江町での祭りや本学の学園祭、都内イベントなどに参加し、交流や販売を行った。開発した商品は完売



事業終了時点の成果及びその後の見通し

本事業終了時点では、浪江町および沿岸地域への新規就農および地域企業等への就職実績として、5年間で9名の人材定着と「復興支援サポーター」を100名輩出することを目指している。今春、浪江町の地域おこし協力隊として就職した卒業生が1名おり、「復興支援サポーター」は3年間で延べ103名となっている。地域の人材定着に向けて、地方自治体や関連する地域企業との連携や特別インターンに精力的に取り組みながら目標達成を目指したい。「復興支援サポーター」の育成は順調に推移しており、交流人口・関係人口の拡大に向けて目標達成は可能とみている。

地域活性化に向けては、地域の特産品を活用した商品開発への支援を行っており、「浪江復興米」のパッケージデザインの開発や浪江町のいちじく生産組合等と連携したいちじく関連商品の取り組みを通じて一定の成果を生み出している。今後はさらなる地域企業との連携や専門家等との連携のもと、商品開発支援やイベント企画等を通じて事業の成果を高めていきたい。



特別インターンの様子



浪江での活動成果報告会



農大の学園祭では優良店に選ばれた



町内の農業施設の見学



特許庁の事業I-OPENに参加